

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類 I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治療切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。)及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。)が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
--	--------------------------------------	---

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。)	有・無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	169人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	0人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	1人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHIF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	97	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	27
・多発性硬化症	41	・ウエゲナー肉芽腫症	26
・重症筋無力症	89	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	45
・全身性エリテマトーデス	457	・多系統萎縮症	14
・スモン	3	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3
・再生不良性貧血	72	・膿疱性乾癬	8
・サルコイドーシス	173	・広範脊柱管狭窄症	6
・筋萎縮性側索硬化症	17	・原発性胆汁性肝硬変	124
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	255	・重症急性膵炎	15
・特発性血小板減少性紫斑病	96	・特発性大腿骨頭壊死症	38
・結節性動脈周囲炎	9	・混合性結合組織病	91
・潰瘍性大腸炎	200	・原発性免疫不全症候群	6
・大動脈炎症候群	24	・特発性間質性肺炎	19
・ビュルガー病	38	・網膜色素変性症	26
・天疱瘡	49	・プリオン病	2
・脊髄小脳変性症	42	・原発性肺高血圧症	19
・クローン病	73	・神経線維腫症	14
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3	・亜急性硬化性全脳炎	0
・悪性関節リウマチ	32	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3
・パーキンソン病関連疾患	214	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	0
・アミロイドーシス	47	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0
・後縦靭帯骨化症	145	・副腎白質ジストロフィー	0
・ハンチントン病	4		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1ヶ月に1回程度		
剖検の状況	剖検症例数	20例	剖検率 9.6%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ヒト心臓内多能性幹細胞と幹細胞増幅因子bFGF徐放シートのハイブリッド移植療法による心筋再生医療の多施設共同型臨床開発	松原弘明	循環器腎臓内科	49,691,000円	補 厚生労働省
難治性血管炎に対する血管再生療法の多施設共同研究	松原弘明	循環器腎臓内科	2,200,000円	補 厚生労働省
難治性血管炎に関する調査研究	松原弘明	循環器腎臓内科	150,000円	補 厚生労働省
ヒト心臓内幹細胞の増殖・分化誘導因子の発見と心筋分化初期プライミング因子の探索	松原弘明	循環器腎臓内科	19,540,000円	補 文部科学省
心血管ストレスにตอบสนองするチロシンキナーゼの作用機序とその制御による創薬の試み	沖垣光彦	循環器腎臓内科	2,690,000円	補 文部科学省
p53、SCO2による心筋ミトコンドリア好氣的エネルギー代謝調節と心筋細胞死	的場聖明	循環器腎臓内科	2,210,000円	補 文部科学省
心不全における細胞の生死に係るミトコンドリア機能解析と生体組織工学アプローチ	金井恵理	循環器腎臓内科	1,690,000円	補 文部科学省
胚性幹細胞の心血管細胞分化におけるmicroRNAの役割	高橋知三郎	循環器腎臓内科	2,210,000円	補 文部科学省
アンジオテンシンによるTリンパ球系幹細胞の分化・増殖・活性化と不安定プラーク破綻	山田浩之	循環器腎臓内科	1,560,000円	補 文部科学省
心筋幹細胞の心筋分化機構におけるmicroRNAの発現様式の検討	立石健人	循環器腎臓内科	1,755,000円	補 文部科学省
血管内皮アポトーシスを制御する新規遺伝子BLADEの血管新生における機能の解明	池田宏二	循環器腎臓内科	2,860,000円	補 文部科学省
悪性リンパ腫に対する免疫化学療法の最適化による新たな標準的治療の	谷脇雅史	血液内科	1,000,000円	補 名古屋医療センター
分子基盤に基づく難治性リンパ系腫瘍の診断及び治療法の開発に関する研究	谷脇雅史	血液内科	1,200,000円	補 名古屋大学医学部付属病院
成人T細胞白血病(ATL)に対する同種幹細胞移植法の開発とそのHTLV-1排除機構の解明に関する研究	谷脇雅史	血液内科	400,000円	補 国立病院機構九州がんセンター
原発性AL/マロトーンズに対するホルテゾミブ・メルファラン・デキサメタゾン療法の安全性と有用性に関する研究	島崎千尋	血液内科	1,000,000円	補 金沢大学
末梢性T細胞リンパ腫(PTCL)の細胞起源の同定による病型分離と治療層別化	松本洋典	血液内科	1,000,000円	補 若手研究者奨励研究費
多発性骨髄腫のSKY-ゲノムアレイ解析と臨床応用	谷脇雅史	血液内科	1,820,000円	補 文部科学省
NeuroAIDSの発症病態と治療法の開発を目指した長期フォローアップ体制の構築	中川 正法	神経内科	3200000円	委 厚生労働省

難治性ニューロパチーの病態に基づく新規治療法の開発	中川 正法	神経内科	750000円	委	厚生労働省
難治性疾患克服研究事業 神経変性疾患に関する調査研究	中川 正法	神経内科	1000000円	補	厚生労働省
重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究	中川 正法	神経内科	800000円	補	厚生労働省
ニューロパチーの病態解明に関する研究	滋賀 健介	神経内科	1000000円	補	厚生労働省
α-シヌクレイン分析酵素ニューロシンの細胞内プロテアーゼ特性とその制御因子の検討	徳田 隆彦	神経内科	1800000円	補	文部科学省
粥状硬化性機序による難治性脳梗塞の診断・治療・予防に関する研究	永金 義成	神経内科	500000円	委	厚生労働省
新しい胃癌の癌抑制遺伝子RUNX3の細胞分化・癌化機構の解明と予防・治療への応用	阪倉 長平	消化器外科	4100000円	補	日本学術振興会
胃癌の新しい癌抑制遺伝子RUNX3の細胞化・癌化機構の解明と予防・診断への応用	阪倉 長平	消化器外科	6000000円	補	文部科学省
アクチン重合阻害剤トルンキュリンの抗腫瘍効果と臨床応用	落合 登志哉	消化器外科	1200000円	補	日本学術振興会
消化器癌患者における血漿中核酸断片を用いた新規バイオマーカーの開発と臨床応用	市川 大輔	消化器外科	1000000円	補	日本学術振興会
免疫細胞活性化カラムを用いた体外循環治療を併用した癌ワクチン療法の開発	伊藤 剛	消化器外科	1400000円	補	日本学術振興会
分子機構から見た直腸肛門奇形rescure programの確立	岩井直躬	小児外科学	8,700千円	補	文部科学省
完全静脈栄養管理下の短腸症候群における敗血症及び肝不全予防療法の開発	古川泰三	小児外科学	2,540千円	補	文部科学省
直腸肛門奇形モデルマウスにおける神経・筋発生異常の分子生物学的解析	津田知樹	小児外科学	3,200千円	補	文部科学省
間接軟骨疾患治療に向けた間接内環境ストレス応答機構の解明	久保 俊一	整形外科	7290千円	補	日本学術振興会
組織工学的的手法による椎間板再生法の確立	三上 靖夫	整形外科	2210千円	補	日本学術振興会
加齢による筋萎縮メカニズムの解明及び予防法の確立	藤原 浩芳	整形外科	600千円	補	日本学術振興会

変性間接軟骨内部における荷重応答の解析	生駒 和也	整形外科	1742千円	補	日本学術振興会
拡散テンソル法をもちいた末梢神経損傷の新たな診断法の確立	小田 良	整形外科	1742千円	補	日本学術振興会
突発性大腿骨頭壊死症の予防と治療の標準化を目的とした総合研究	久保 俊一	整形外科	27000千円	補	厚生労働省
変形性関節症の治療標的としての滑膜炎の病的意義解明と制御方法の検討	高橋 謙治	整形外科	1000千円	補	中富健康科学振興財団
肩関節動作における腱板(棘上筋・棘下筋)に加わる負荷の定量化の試み 腱板における全荷重・部分荷重に	森原 徹	整形外科	2000千円	補	日本運動器リハビリテーション学会
鎖骨を含めた肩甲上腕リズムの解析-肩鎖関節完全脱臼における病態評価とその治療法の確立-	森原 徹	整形外科	500千円	補	日本臨床スポーツ治療医学研究会
細胞老化とエピジェネティック変化の制御による角膜上皮細胞治療法の基盤技術の開発	木下 茂	眼科	910万円	委	文部科学省
アトピー眼症におけるビタミンD3及びTSLP分子の機能分析	木下 茂	眼科	160万円	委	文部科学省
高次分岐形態形成の誘導による涙腺の機能的再生	横井 則彦	眼科	195万円	委	文部科学省
SJS/TENの新規治療法開発に向けての戦略的研究	外園 千恵	眼科	975万円	委	文部科学省
拡大ロービジョンリハビリテーションの効果に関する研究	外園 千恵	眼科	100万円	委	文部科学省
複合型粘膜上皮移植と免疫系制御による眼表面再生医療への展開	稲富 勉	眼科	169万円	委	文部科学省
角膜上皮細胞の特異機能におけるエピジェネティック制御および機能的RNAの関与	川崎 諭	眼科	195万円	委	文部科学省
網膜静脈閉塞症に対する血管内皮前駆細胞移植による治療的血管新生	小森 秀樹	眼科	143万円	委	文部科学省
角膜性状同時測定が可能な新規眼圧計の開発	成瀬 繁太	眼科	140万円	委	文部科学省
神経系組織浮腫の新しい治療法	丸山 和一	眼科	208万円	委	文部科学省

アジア科学技術協力の戦略的推進	木下 茂	眼科	2079万円	補	文部科学省
緑内障診断SNPチップと変形プロテオミクス解析による緑内障統合的診断法の開発	木下 茂	眼科	2600万円	補	厚生労働省
重症多発滲出性紅斑に関する調査研究	外園 千恵	眼科	200万円	補	厚生労働省
重篤な皮膚有害事象の診断・治療と遺伝子マーカーに関する研究	木下 茂	眼科	130万円	補	厚生労働省
結膜弛緩症の原因の解明、病因に関与する眼表面の環境因子の解明、簡便な治療法の開発	横井 則彦	眼科	150万円	補	
バリア機能障害によるアトピー性疾患病態解明に関する研究	加藤則人	皮膚科学	2,000,000	補	厚生労働省
組織弾性イメージングを用いた下部尿路症状の病態解明	沖原 宏治	泌尿器科	500,000	補	文部科学省
がん検診の評価とあり方に関する研究	三木 恒治	泌尿器科	2,500,000	補	厚生労働省
診療科データベースとJapanese National Cancer Database (JNCDB)の構築と運用	三木 恒治	泌尿器科	1,100,000	補	厚生労働省
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法に関する研究	三木 恒治	泌尿器科	800,000	補	厚生労働省
精神・神経疾患研究委託費「摂食障害の疫学、病態と診断、治療法、転帰と予後に関する統合的研究」分担「発達障害の合併する摂食障害患者の臨床的特徴に関する研究」	福居顯二	精神神経科	500千円	補	厚生労働省
障害保健福祉総合研究事業「精神障害および精神障害者に関する普及啓発に関する研究」分担「地域での普及啓発が統合失調症の早期発見に与える影響の検討」	福居顯二	精神神経科		補	厚生労働省
応用行動分析を用いた認知症の行動障害に対する介入法の開発	成本 迅	精神神経科	1040千円	補	文部科学省
育児期の女性における不安・抑うつに関する精神医学的研究	崔 炯仁	精神神経科	780千円	補	文部科学省
Necdin/MAGEファミリーによる成体脳での神経細胞新生と死の制御機構	西村 伊三男	精神神経科	1950千円	補	日本学術振興会
平成20年度大阪認知症研究会海外派遣助成	成本 迅	精神神経科	200千円	補	大阪認知症研究会
胸部悪性腫瘍のラジオ波焼灼療法に関する研究	山上 卓士	放射線科	800000円	補	厚生労働省

人工呼吸器関連肺損傷に関連したバイオマーカーの検討	橋本 悟	麻酔科	3600000円	補	日本学術振興会
知覚神経における疼痛関連遺伝子の転写活性制御の解析と疼痛治療への応用	天谷 文昌	麻酔科	1100000円	補	日本学術振興会
好中球の転写因子C/EBP β に着目した肺血症性急性肺損傷の病態解析	志馬 伸朗	麻酔科	1200000円	補	日本学術振興会
エピジェネティクスに注目したARDSの病態解析	橋本 悟	麻酔科	22000000円	補	日本学術振興会
miRNAによるRNA干渉効果を用いた新しい血小板遺伝子ノックダウン手法の開発	加藤 祐子	麻酔科	2400000円	補	文部科学省
羊膜を基質とした培養口腔粘膜上皮シートの臨床応用	金村成智	歯科	1,100,000円	補	日本学術振興会

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am Heart J	Long-term clinical outcome after intramuscular implantation of bone marrow mononuclear cells (Therapeutic Angiogenesis by Cell Transplantation [TACT] trial) in patients with chronic limb ischemia.	的場聖明,松原弘明	循環器腎臓内科
J Am Coll Cardiol.	Controlled Delivery of Basic Fibroblast Growth Factor Promotes Human Cardiosphere-Derived Cell Engraftment to Enhance Cardiac Repair for Chronic Myocardial Infarction.	高橋知三郎,松原弘明	循環器腎臓内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol	Downregulation of Dicer expression by serum withdrawal sensitizes human endothelial cells to apoptosis.	高橋知三郎,松原弘明	循環器腎臓内科
J Hum Hypertens	Losartan decreased premature ventricular contractions in patients with hypertension.	白山武,松原弘明	循環器腎臓内科
J Hum Hypertens.	KYOTO HEART study: effects of valsartan on morbidity and mortality in uncontrolled hypertensive patients with high risk of cardiovascular events.	松原弘明	循環器腎臓内科
J Cell Mol Med	Stemming heart failure with cardiac- or reprogrammed-stem cells	沢田尚久,松原弘明	循環器腎臓内科
Clin Nucl Med	Dual SPECT Imaging With Tc-99m Pyrophosphate and Tl-201 of Circumferential Subendocardial Myocardial Infarction in Aortic Stenosis Without Coronary Artery Stenosis.	中村 猛,松原弘明	循環器腎臓内科
Int J Cardiol	Vagal enhancement due to subendocardial ischemia as a cause of abnormal blood pressure response in hypertrophic cardiomyopathy.	沢田尚久,松原弘明	循環器腎臓内科
Am J Physiol Cell Physiol.	MURC, a muscle-restricted coiled-coil protein, is involved in the regulation of skeletal myogenesis	上山知巳,松原弘明	循環器腎臓内科
Am J Cardiol	Changes of Functional Mitral Regurgitation in Asymptomatic or Mildly Symptomatic Patients With Idiopathic Dilated Cardiomyopathy.	松原弘明	循環器腎臓内科
J Biol Chem	Crossveinless-2 controls bone morphogenetic protein signaling during early cardiomyocyte differentiation in	松原弘明	循環器腎臓内科
Circ J	Predictors of In-Hospital Outcome After Primary Percutaneous Coronary Intervention for Recurrent Myocardial Infarction	沢田尚久,松原弘明	循環器腎臓内科
Circ J	Effects of Hospital Volume of Primary Percutaneous Coronary Interventions on Angiographic Results and In-Hospital Outcomes for Acute Myocardial Infarction.	沢田尚久,松原弘明	循環器腎臓内科
Circ J	Septal Q wave as a marker of septal ischemia in hypertrophic cardiomyopathy.	松原弘明	循環器腎臓内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Mol Cell Biol	MURC, a Muscle-Restricted Coiled-Coil Protein That Modulates the Rho/ROCK Pathway, Induces Cardiac Dysfunction and Conduction Disturbance.	松原弘明	循環器腎臓内科
J Cell Mol Med	Stemming heart failure with cardiac- or reprogrammed-stem cells	上山知巳,松原弘明	循環器腎臓内科
Cardiovasc Res	Generation of reentrant arrhythmias by dominant-negative inhibition of connexin43 in rat cultured myocyte monolayers.	松原弘明	循環器腎臓内科
Hypertens Res.	Aldosterone nongenomically produces NADPH oxidase-dependent reactive oxygen species and induces myocyte apoptosis.	松原弘明	循環器腎臓内科
Amyloid	Early cardiac involvement in senile systemic amyloidosis	沢田尚久,松原弘明	循環器腎臓内科
Clin Nucl Med	Dual SPECT imaging with Tc-99m pyrophosphate and Tl-201 of circumferential subendocardial myocardial infarction in aortic stenosis without coronary artery stenosis.	沢田尚久,松原弘明	循環器腎臓内科
Biochem Biophys Res Commun	Skeletal muscle-derived progenitors capable of differentiating into cardiomyocytes proliferate through myostatin-independent TGF- β family signaling.	上山知巳,松原弘明	循環器腎臓内科
Heart Vessels.	Altered expression of Na ⁺ transporters at the mRNA level in rat normal and hypertrophic myocardium.	白山武,松原弘明	循環器腎臓内科
Nippon Naika Gakkai Zasshi.	Angiogenic therapy for critical limb ischemia	的場聖明,松原弘明	循環器腎臓内科
Am J Nephrol.	Increased plasma S100A12 (EN-RAGE) levels in hemodialysis patients with atherosclerosis.	森 泰清,松原弘明	循環器腎臓内科
Ther Apher Dial	Plasma S100A12 concentrations in peritoneal dialysis patients and subclinical chronic inflammatory disease.	森 泰清,松原弘明	循環器腎臓内科
Int J Hematol. 87: 507-515, 2008.	Anti-myeloma effect of homoharringtonine with concomitant targeting of the myeloma-promoting molecules, Mc1-1, XIAP, and beta-catenin.	Kuroda J	血液・腫瘍内科
Acta Haematol. 120: 177-181, 2008.	JAK2V617F-Positive Essential Thrombocythemia and Multiple Myeloma with IGH/CCND1 Gene Translocation Coexist, but Originate from Separate Clones.	Kuroda J	血液・腫瘍内科
Br J Haematol.140:181-190, 2008	ABT-737 is a useful component of combinatory chemotherapies for chronic myeloid leukaemias with diverse drug-resistance mechanisms.	Kuroda J	血液・腫瘍内科

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Hematol.88:457-459, 2008.	Thrombotic thrombocytopenic purpura associated with myelodysplastic syndrome.	Sasaki N	血液・腫瘍内科
Oncogene.27 :2249-2256, 2008	Identification of the novel AML1 fusion partner gene, LAF4, a fusion partner of MLL, in childhood T-cell acute lymphoblastic leukemia with t(2;21)(q11;q22) by bubble PCR method for cDNA.	Chinen Y	血液・腫瘍内科
Eur J Clin Microbiol Infect Dis.27:1141-1143, 2008	Pharmacokinetic -pharmacodynamic analysis of voriconazole in Japanese patients with hematological malignancies.	Nomura K	血液・腫瘍内科
Intern Med.47:375-378, 2008.	Population pharmacokinetics of levofloxacin as prophylaxis for febrile neutropenia.	Nomura K	血液・腫瘍内科
J Antimicrob Chemother. 61:892-900, 2008.	Optimized dosage and frequency of ceftazidime for patients with febrile neutropenia based on population pharmacokinetic and pharmacodynamic analysis.	Nomura K	血液・腫瘍内科
Infect Control Hosp Epidemiol. 29:468-469, 2008.	Should Infection Control Teams Enforce an Antimicrobial Stewardship Program for All Clinicians?	Nomura K.	血液・腫瘍内科
Eur J Haematol. 80:143-150, 2008	Immunoglobulin light chain gene translocations in non-Hodgkin's lymphoma as assessed by fluorescence in situ hybridisation	Fujimoto Y,	血液・腫瘍内科
Int J Hematol.43 :967-970, 2008	Renal vein lymphoma embolism in non-Hodgkin lymphoma.	Yamamoto M	血液・腫瘍内科
Int J Antimicrob Agents. 31: 452-457, 2008.	Population pharmacokinetics of itraconazole solution used as prophylaxis for febrile neutropenia.	Nomura K	血液・腫瘍内科
Journal of Pediatric Surgery	Significance of ductal plate malformation in the postoperative clinical course of biliary atresia.	Shimadera S	小児外科学
European Journal of Pediatric Surgery	Congenital anomalies induced by Triamcinolone Acetonide in murine embryos.	Iwai N	小児外科学
Journal of Pediatric Surgery	Development of bile duct cancer in a 26-year-old man after resection of infantile choledochal cyst.	Ono S	小児外科学
日本医事新報	巨大結腸症の診断と治療	岩井直躬	小児外科学
日本医事新報	胆道閉鎖症の治療	岩井直躬	小児外科学
日本医事新報	胆道閉鎖症術後臨床経過におけるductal plate malformationの意義	嶋寺伸一	小児外科学

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本医事新報	便秘に伴う遺糞症に対するバイオフィードバック療法の効果	木村 修	小児外科学
日本医事新報	Hirschsprung病の診断と治療	岩井直躬	小児外科学
日本医事新報	複合奇形を有する低出生体重児の食道閉鎖症根治術と周術期管理.	岩井直躬	小児外科学
日本医事新報	小児便失禁の治療戦略	木村 修	小児外科学
Int Arch Allergy Immunol 149: 103-110, 2009	Atopic dermatitis, dry skin and serum IgE in children in a community in Japan.	Wakamori T, Katoh N, et al	皮膚科学
J Dermatol Sci 53: 40-47	Immunohistological analysis of peptide-induced delayed-type hypersensitivity in advanced melanoma patients treated with melanoma antigen-pulsed mature monocyte-derived dendritic cell	Nakai A, Katoh N, et al	皮膚科学
J Dermatol Sci 54: 31-37	Immunoregulatory T cells in the peripheral blood of melanoma patients treated with melanoma antigen-pulsed mature monocyte-derived dendritic cell vaccination.	Nakai A, Katoh N, et al	皮膚科学
J Dermatol 35(12):801-803, 2008	Evaluation of survival in Japanese stage IV melanoma patients treated with melanoma antigen-pulsed mature monocyte-derived dendritic cells.	Nakai A, Katoh N, et al	皮膚科学
Neuroscience Research 60(2): 213-218, 2008 Feb.	Effects of rat medial prefrontal cortex lesions on olfactory serial reversal and delayed alternation tasks.	Kinoshita, S.	精神機能病態学
Psychiatry and Clinical Neurosciences 62(2): 174-176, 2008 Apr.	Relationships among burnout, coping style and personality: study of Japanese professional caregivers for elderly.	Narumoto, J.	精神機能病態学
Neuroscience Letters 435(1): 7-10, 2008 Apr 11.	Correlation between anosognosia and regional cerebral blood flow in Alzheimer's disease.	Shibata, K.	精神機能病態学
Neuroscience Letters 436(2): 167-170, 2008 May 9.	Serotonergic mediation of the antidepressant-like effect of the green leaves odor in mice.	Nakatomi, Y.	精神機能病態学
Progress in Neuro- Psychopharmacology and Biological Psychiatry 32(4): 1082-1084. 2008	Recurrent hyperperfusion in the right orbitofrontal cortex in obsessive-compulsive disorder.	Matsumoto, R.	精神機能病態学
Psychiatry and Clinical Neurosciences 62(3): 279-285, 2008 Jun.	Classification of adult patients with type 2 diabetes using the Temperament and Character Inventory.	Yoda, N.	精神機能病態学

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neuroscience 154(2): 572-581, 2008 Jun 23.	Drosophila MAGE controls neural precursor proliferation in postembryonic neurogenesis.	Nishimura, I.	精神機能病態学
Progress in Neuro-Psychopharmacology and Biological Psychiatry 32(5): 1221-1226. 2008	Alteration of fractional anisotropy and apparent diffusion coefficient in obsessive-compulsive disorder: a diffusion tensor imaging study.	Nakamae, T.	精神機能病態学
Neuroscience 156(3): 466-474, 2008 Oct 15.	The single-prolonged stress paradigm alters both the morphology and stress response of magnocellular vasopressin neurons.	Yoshii, T.	精神機能病態学
認知療法研究 1: 26-32, 2008年10月.	日本における認知療法の拡がり.	福居顯二	精神機能病態学
精神科 12(5): 448-452, 2008年5月.	慢性期統合失調症入院患者のBMIと関連因子に関する検討.	北林百合之介	精神機能病態学
精神科治療学 23(12): 1491-1497, 2008年12月.	パニック障害の非発作性不定愁訴に柴胡加竜骨牡蠣湯が有用と考えられた3症例.	富永敏行	精神機能病態学
強迫性障害の研究 9: 27-33, 2008年5月.	重度の溜め込み強迫症状を呈する強迫性障害患者への入院治療が奏効した1例.	松本良平	精神機能病態学
精神医学 50(4): 361-363, 2008年4月.	甲状腺クリーゼの経過中に、精神運動興奮と精神症状に連動したβブロッカー抵抗性の重篤な頻脈を来し、精神科介入を必要とした1例.	羽多野 裕	精神機能病態学
Chest	Delayed and recurrent pneumothorax after radiofrequency ablation lung tumors	Yoshimatsu R, Yamagami T, et al	放射線科
Journal of Oral Tissue Engineering vol.6 (発表:2007年9月30日)	Experiences of preclinical use of periodontal ligament-derived cell sheet cultured on human amniotic membrane	Amemiya Takeshi	歯科
日本歯科保存学雑誌 第52巻 (発表:2008年2月30日)	化学療法により歯胚の消失を認めた小児神経芽細胞腫の症例-乳歯に対する抗腫瘍剤の影響-	山本俊郎	歯科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Internal Medicine 47(23):2067-72, 2008.	Two Japanese CADASIL families exhibiting Notch3 mutation R75P not involving cysteine residue.	Mizuno T, et al. (水野敏樹)	神経内科
Clinical Neuropharmacology 2009 Mar-Apr; 32(2):113-6.	Cognitive impairment and cerebral hypoperfusion in a CADASIL patient improved during administration of lomerizine.	Mizuno T, et al (水野敏樹)	神経内科
Internal Medicine 2009;48(3):163-8.	Polymyositis with atypical pathological features associated with thymic carcinoma.	Azuma Y, et al (東 裕美子)	神経内科
Acta Neuropathologica 2009 Jan;117(1):55-62.	Increased TDP-43 protein in cerebrospinal fluid of patients with amyotrophic lateral sclerosis.	Kasai T, et al. (笠井 高士)	神経内科
Clinical autonomic research 2008 Aug;18(4):213-20.	Evaluation of autonomic malfunction in idiopathic normal pressure hydrocephalus.	Kuriyama N, et al. (栗山長門)	神経内科
Neuroradiology 2008 Nov; 50(11):939-45.	Is it possible to define salvageable ischemic penumbra using semiquantitative rCBF levels derived from MR perfusion-weighted imaging?	Akazawa K, et al. (赤澤健太 郎)	放射線科
Annals of Neurology 2008 Aug;64(2):217-21.	Retrograde jugular flow associated with idiopathic normal pressure hydrocephalus.	Kuriyama N, et al. (栗山長門)	神経内科
Neuroradiology. 2008 Jul;50(7):605-11.	Cerebral white matter damage in frontotemporal dementia assessed by diffusion tensor tractography.	Matsuo K, et al. (松尾宏俊)	神経内科
Neuroscience Letters 2008 May 2;436(1):52-6.	Cleavage of normal and pathological forms of alpha-synuclein by neurosin in vitro.	Kasai T, et al. (笠井高士)	神経内科

Hepato-Gastroenterology; 55(82-83) (発表:年月日)	Efficacy of Prophylactic Extended Lymphadenectomy with Gastrectomy for Patients with Node-negative Advanced Gastric Carcinoma	Eigo Otsuji	消化器外科
京都府立医科大学雑誌; 117(5) (発表:2008年5月日)	大腸癌に対する腹腔鏡下手術の現状と展望	國場幸均	消化器外科
Journal of hepatobiliary-pancreatic surgery; 15(4) (発表:2008年8月日)	Novel interventional treatment technique for intractable pancreatic fistula due to dehiscreatico-jejunal anastomosis following pancreaticoduodenectomy.	Shuhei Komatsu	消化器外科
京都消化器医会会報; 第24号 (発表:2008年8月日)	胃癌に対する外科的治療の現状	大辻英吾	消化器外科
日本消化器外科学会雑誌; 41(11) (発表:2008年11月日)	Oxaliplatin/fluorouracil/leucovorin 療法が奏効した直腸癌術後脳脊髄転移の1例.	窪田健	消化器外科
癌と化学療法; 35(12) (発表:2008年11月日)	術前化学療法(mFOLFOX6)が奏功し切除可能となった高度浸潤直腸癌の一例	阪倉長平	消化器外科
International Journal of Clinical Oncology; 13(6) (発表:2008年12月日)	Long-term complete response of multiple hepatic metastases from carcinoma of the papilla of Vater using intrahepatic infusion of 5-FU with low-dose cisplatin following pancreaticoduodenectomy.	Shuhei Komatsu	消化器外科
Clinical & Experimental Metastasis; 26(5) (発表:2009年2月日)	NK4, an HGF antagonist, prevents hematogenous pulmonary metastasis by inhibiting adhesion of CT26 cells to endothelial cells.	Takeshi Kubota	消化器外科
Coagulation&Inflammation 2(2):8-12 (発表:2008年)	ALI/ARDS とアポトーシス	橋本 悟	麻酔科
Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol 295(4):L566-74 (発表:2008年)	Dysregulation of lung injury and repair in moesin-deficient mice treated with intratracheal bleomycin	橋本 壮志	麻酔科
Respirology 13(4):581-4 (発表:2008年)	Neutrophil elastase activity in acute lung injury and respiratory distress syndrome	橋本 悟	麻酔科

Anesthesiology 108(6):1156 (発表:2008年)	Ultrasound-guided Catheterization of the Internal Jugular Vein	志馬 伸朗	麻酔科
第30回日本呼吸療法医 学会総会 (発表:2008年7月4 日)	肺高血圧を有する乳児先天性心疾患根治術 後での早期抜管は術後炎症反応を軽減する	梅内 貴子	麻酔科
第55回日本麻酔科学会 学術集会 (発表:2008年6月12 日)	小児静脈穿刺におけるトランスイルミネー ション法の有用性を評価するパイロットス タディ	貴志 千春	麻酔科
第36回日本救急医学会 総会 (発表:2008年10月13 日)	ルシフェラーゼアッセイを使ったカテーテ ル関連感染症の早期診断法の検討	別府 賢	麻酔科
日本乳癌検診学会誌 17(2): 154 - 160, 2008. 6. 30.	ステレオガイド下マンモトーム生検におけ る経験と工夫	中嶋啓雄	内分泌・乳腺外 科
Apoptosis13(4): 1360- 8185, 2008. 4.	Bid truncation mediated by caspases-3 and - 9 in vinorelbine-induced apoptosis.	Akemi Hayakawa	内分泌・乳腺外 科
Apoptosis13: 1013-1021, 2008. 7.	Blockade of the Fas/Fas ligand interaction suppresses hepatocyte apoptosis in ischemia- reperfusion rat liver.	Hiroo Nakajima	内分泌・乳腺外 科
日本臨床外科学会雑誌 69(8): 1866 - 1871, 2008, 8, 25.	乳癌に対するセンチネルリンパ節生検後の腋窩 リンパ節再生例の検討.	中嶋啓雄	内分泌・乳腺外 科
日本臨床外科学会雑誌 69(10): 2454 - 2461, 2008, 10, 25.	内視鏡下乳房温存手術の長期成績	中嶋啓雄	内分泌・乳腺外 科
World J Surg 32: 2477- 2482, 2008. 8.	Prognosis of Japanese Breast Cancer Based on Hormone Receptor and HER2 Expression Determined by Immunohistochemical Staining.	Hiroo Nakajima	内分泌・乳腺外 科
Annals of Surgery 249(1):91-96, 2009. 1.	Video-Assisted Skin-Sparing Breast- Conserving Surgery for Breast Cancer and Immediate Reconstruction With Autologous Tissue.	Hiroo Nakajima	内分泌・乳腺外 科

Fertil Steril 89: 1831-1835, 2008.	Maintenance therapy involving a tapering dose of danazol or mid/low doses of oral contraceptive after gonadotropin-releasing hormone agonist treatment for endometriosis-associated pelvic pain.	Kitawaki J	産婦人科
Biochem Pharmacol 76: 208-215, 2008	MCF-7aro/ERE, a novel cell line for rapid screening of aromatase inhibitors, ERalpha ligands and ERRalpha ligands	Lui K	産婦人科
J Reprod Immunol 78: 1-10, 2008.	Possible role of hematopoietic CD44/chondroitin sulfate interaction in extravasation of peripheral blood CD16(-) natural killer cells into human endometrium	Yasuo T	産婦人科
Eur J Pharmacol. 2009; 605: 164-169.	Telmisartan, an angiotensin II type 1 receptor blocker, prevents the development of diabetes in male Spontaneously Diabetic Torii rats	Hasegawa G	産婦人科
Int J Gynecol Cancer. 2009; 19: 484-488.	Intravenous paclitaxel is specifically retained in human gynecologic carcinoma tissues in vivo	Koshiha H	産婦人科

5
